科目ナンバリング	U-LAS30 10031 SJ11						
授業科目名<英訳>	情報AI基礎演習［農学部］ Practice in Basics of Informatics and AI (Faculty of Agriculture)			担当者所属職名・氏名	農学研究科　教授　仲村　匡司 農学研究科　准教授　粟野　達也 農学研究科　准教授　檀浦　正子 農学研究科　助教　澤田　豊 農学研究科　准教授　山﨑　理正		
群	情報学科目群			分野(分類)	(基礎)	使用言語	日本語
旧群	B群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	木3	配当学年	1回生	対象学生	理系向

[授業の概要・目的]

パーソナルコンピュータ（PC）利用経験の浅い学生を主な対象として，PCを活用するための基礎的な知識と技能を修得させる．PCの基本的な操作法,セキュリティと倫理,情報検索の方法,構造化された文書の作成法,表計算ソフトウェアによるデータ処理の方法，学術的プレゼンテーション資料作成，さらに生成AIの利用法の基礎を学ぶ.

[到達目標]

・PCの基本ソフト（オペレーティングシステム；OS）およびネットワークの利用のための基礎的な操作を習得し，それらを安全に利用できるようになる
・図書館が提供している情報とその利用法を理解する.
・学術的な文書をワードプロセッサを用いて作成できるようになる.
・表計算ソフトを用いた基礎的なデータ処理を行えるようになる.
・プレゼンテーションソフトを用いて簡単な学術的プレゼンテーションが行えるようになる.
・生成AIを使うことのメリット，デメリットを把握し，効果的に利用できるようになる.

[授業計画と内容]

おおよそ以下の内容について学習する予定である．初回にはオリエンテーションも行う.

コンピュータの基礎（1週）［仲村］
　・ハードウェア，ソフトウェア
　・OSの基本
　・ファイルシステムとファイルの種類
ネットワークの基礎（1週）[山﨑］
　・インターネットの仕組み
　・きちんとしたメールの送受
文献検索と文献管理（1週）［山﨑］
　・学術情報の流れ(学会発表から論文投稿，出版まで）
　・学術情報の検索と整理
著作権と生成AI（1週）［山﨑］
　・適切な引用
　・生成AIの利用
表計算ソフトによるデータ処理（3週）［粟野］
　・表計算ソフトの基礎
　・シミュレーションに挑戦
　・様々なグラフの作図に挑戦
文書の整形と構造化（3週）［檀浦］
　・Wordによる構造化された文書の作成

情報AI基礎演習［農学部］(2)へ続く↓↓↓

情報AI基礎演習［農学部］(2)

・Word文書への図表の挿入，数式の取扱い
・プレゼンテーションについて考える
総合演習（2週）［仲村］
・Word，Excel，PowerPointを組み合わせて使う
Python入門（2週）［澤田］
・Pythonを用いたプログラミング入門
フィードバック（1週）

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

トピックごとに提出を求める課題・レポートで評価する．レポートは授業で学習したポイントを踏まえているかどうか，記述が明解かどうかなどによって評価する．課された課題・レポートについて，授業回数に応じて配点し合計したものを成績とする．

[教科書]

喜多、北村、日置、酒井 『情報AI基礎演習 2026』（出版はされていません。オンライン版を授業で提供します。）
授業支援システムLMSでの資料配付を適宜行う．

[参考書等]

（参考書）
必要に応じて授業中に紹介する．

[授業外学修（予習・復習）等]

授業時間外の学習として，トピックごとに提出を求めている課題・レポートに取り組むことを求める．

[その他（オフィスアワー等）]

質問は随時メールで受け付ける．

情報環境機構が提供する情報セキュリティe-Learningを必ず受講し，修了テストを受けた上で，同テストのフィードバックを確認しておくこと．授業内ではe-Learningを受講するための時間は設けないので，授業時間外に受講しておくこと．同e-Learningは学生も含めた本学の全構成員に対して毎年受講が求められているものである．2回生以上で過去の年度に受講した場合でも今年度まだ受講していないのであれば必ず受講すること．

この演習では，端末室に設置されたPCを利用することも可能であるが，履修者自身が持参するノートPCを利用することを前提としている（Bring Your Own Device; BYODによる実施）．

[主要授業科目（学部・学科名）]